

令和6年度 第2回

旭川市自立サポートセンター支援調整会議 全体会議

多機関協働のための 事例検討会

野中方式の事例検討を通じて、会場の皆さんと複合的な課題を抱えたケースの
アセスメントからプランニングまでを行い、多機関連携・協働を体験していただ
くことを目的とします。

日時 ▶ 令和7年2月18日(火) 13:30~16:30

場所 ▶ 旭川市総合庁舎 7階 大会議室A (旭川市7条通9丁目48番地)

定員 ▶ 70名

内容 ▶ ・旭川市自立サポートセンター上半期実績報告
・多機関協働のための事例検討会

講 師 札幌学院大学 人文学部人間科学科
特別任用教授 大久保 薫 氏

野中方式の事例検討とは

日本福祉大学研究フェロー、日本精神障害者リハビリテーション学会長等を歴任された
故・野中猛氏が生み出した事例検討の方法です。

その特徴として、事前資料なし・机なしで簡便にできること、事例提供者に質問すること
でアセスメント力を磨けること、多様な質問・意見や自分にはない見方・考え方と出会えるこ
と、知らない知識・仕組み・チームと出会えること、事例提供者の頭の中にある情報を再構
成できること、明日からするべきことが見えてくることなどがあります。

野中氏によると、事例検討の方法よりも内容が重要であり、肝心なのは「ケアマネジメン
ト」の本質を忘れないこと、その本質とは「よってたかって人を幸せにすること」とされて
います。(大久保氏提供資料より)

【お問合せ先】

旭川市自立サポートセンター 担当 / 及川、正木

〒070-0037 旭川市7条通9丁目48番地 旭川市総合庁舎5階

TEL (0166) 23-1134 / FAX (0166) 22-8020 / E-mail: jiritsu-support@asahikawa-shakyo.or.jp